

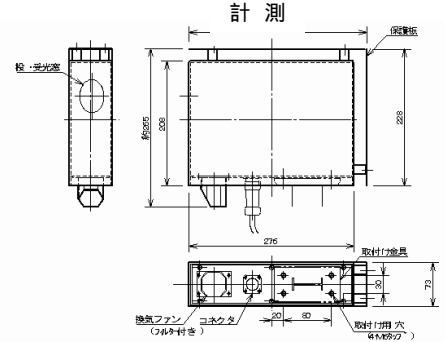
## 光波式 積雪深計 CSDM-301DC / AC

### 特長

- 光学式 乱反射光を取り込むため雪面を荒らしません。
- 測定 斜めに測定が出来るので本体の水垂や雪穴による影響を最小限にすることが出来ます。
- 軽量 取付金具を含めて約 3kg と軽量です。
- 正確 測定範囲全域で、±1cm の測定精度。
- 耐候性 筐体に ABS 樹脂、ステンレスを採用。
- 電源 DC タグでは無電源地帯でも測定が可能。



測定部	距離原理	DC タイプ	AC タイプ
		光波・位相差検出	
光源		1 mW未満 (JIS クラス 2 )	
射出出力		積雪深 = 0cm ~ 500cm	
測定可能範囲		3m未満±1.5cm以内 3m以上±2.5cm以内(擬似雪面による)	
測定精度		データロガーにてトリガー制御 又は 1、3、5、10、60 分設定可	
測定間隔		3 秒発光後、0.5 秒間停止・0.5 秒間発光を 5 回測定	
測定時間		RS-232C	RS-485
デジタル出力		専用ケーブル使用、最大 10m	20m
ケーブル長		DC11V～13.5V	
電源		-10～+40 (オプション-30～+40)	
使用温度		-20～+60	
保存温度		測定部・・・起動時約 100mA、待機時約 30mA (FAN)	
消費電力		-	
データ処理部	表示	LCD 16 文字 2 行	
	表示内容	測定日時、積雪深(*)気温(*)	
	デジタル出力	RS232C 規格準拠	
	アナログ出力	DC0～5V (積雪深=0～500cm に相当)	
	重量	約 3kg	
	寸法	250×280×70(mm)	
	消費電力	AC100V 待機時約 3.9W 測定時約 6.7W	
	オプション	気象庁検定取得可、 DC仕様(DC+9～+16V)有	



データ処理部

## 田村式降雪(降水)強度計 CTM-SR2A

### 概要

特別に工夫した、捕捉率の良い受水器で検出した降雪をヒータで融解し、ノズルにより水滴とし、これを光電センサーで検出し降雪強度を 0.005mm 単位で計測します。降雪、降雨の判別は雪温センサーにより行います。

### 特徴

- ・受水器にトップリングをもうけたことにより、雪片・あられの捕捉率が向上。
- ・受水器の集水部を 2 段構造としたことにより、塵埃による集水口の詰まりを改善しました。
- ・受水器の表面温度を精密に制御。
- ・水滴検出にオリジナル開発の反射型光電スイッチを採用したことにより、検出部が多少傾斜しても検出ミスがありません。
- ・軽量で消費電力が小さい。・出願特許 4 件。



センサー部



変換器部

### 仕様

センサー部	測定方法	懸滴検出方式
	受水面積	
出力	分解能	0.005mm ( ± 10%)
	立ち上がり降水量/最大測定降水量	0.08mm / 2.1mm/min (130mm/hr 相当)
出力	降水パルス出力	TTL 4.6V / パルス幅 120ms
	判別出力	降雪時：4.6V それ以外 0V
形状	外形	センサー 102(H)×82(W)×128(D) 変換器 90(H)×250(W)×210(D)
	重量	センサー 1.2kg 変換器 1.8kg
電源部	電源電圧	AC85～132V 50/60Hz
	ヒーター	受水器表面温度 13 (可変) 自動コントロール
設置環境	消費電力	ヒータオフ：10W ヒータ ON：40W
	変換器設置条件	-15～+50 85%RH 以下
	付属品	接続ケーブル 支柱(32 *500mm ステンレス)

